

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、当院で行われた手術映像を利用して、Cloud 上での安全なデータ管理に関する研究を行います。この映像は、診療の質の向上および学術研究や教育に役立てることを目的としています。

研究の内容を詳しく知りたい方や、手術映像を Cloud 管理としてほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	手術映像の Cloud アップロードおよび診療・学術・教育利用
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 麻酔科 (職名) 手術部副部長 (氏名) 阿部尚紀
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 1 月 4 日
対象となる方	愛媛大学医学部附属病院で手術を受けられたすべての患者さん
利用する試料・情報等	(利用する情報) 手術映像
研究の概要 (目的・方法)	本研究の目的は、手術映像をより安全で効果的に活用できる新しいシステムや運用方法を開発することです。手術映像は診療や教育、研究にとって重要な資料ですが、個人情報の保護がとても大切です。 本研究では、これまで使われていた USB や DVD などの外付けメディアの使用を減らし、医師がクラウド環境から直接映像をダウンロードできるようにする方法を考えています。これにより、メディアの紛失によるリスクを減らし、安全性と使いやすさの両方を高めます。 また、手術映像に含まれる個人情報（顔や名前など）を自動的に隠す技術の研究も進めており、万が一映像が外部に漏れてしまった場合でも、個人が特定されないようにします。これにより、医療の現場で手術映像をより安心して活用できる環境を整えていくことを目指しています。

個人情報の保護 について	本研究では、手術映像を Cloud 環境にアップロードして共有する際の安全性を確保するため、Amazon Web Service、Google Cloud、Microsoft Azure といった信頼性の高いクラウドベンダーの日本国内リージョンに限定してサービスを利用しています。これにより、手術映像の流出リスクを最小限に抑えることが可能です。現在、手術映像は主に医師が個別に管理していますが、Cloud を利用することで、個人情報保護レベルが低下するリスクは極めて低いと考えています。万が一、映像が外部に漏れた場合でも、個人を特定できる情報は匿名加工技術により保護されますので、患者さんのプライバシーは十分に守られます。 また、本研究で得られた成果は、将来の診療、教育、研究に役立てられますが、発表や共有される情報に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 麻酔科 阿部 尚紀 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5383